



ひとひと 女・男 ひろば

〈第27回〉

社会での女性の参画は まだ十分とはいえません

参画といってもその分野は多様ですが、重要な方針を決める場での女性の参画はまだ少なく、その意見が十分には反映されていません。

下の表は、市の政策形成過程における女性の参画状況を示したものです。法令などに基づく各種審議会などへの女性登用率は、平成13年度末で31.8%と、県内ではトップクラスにあります。また教育委員会などの行政委員会でも、県平均よりは多くの女性が委員として登用されています。しかし女性がいない委員会も多く、人材育成も含めた登用の促進を、今後も進めていく必要があります。

女性登用率	新津市	県平均
各種審議会	31.8%	16.4%
行政委員会	10.9%	4.8%

6/23～6/29は男女共同参画週間

「参画で私が変わる。未来も変わる」

男女が互いにその人権を尊重しつつ、喜びや責任を分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮できる社会。その形成に向けて、男女共同参画社会基本法の目的や理念への理解を国民から深めてもらう週間です。

新津市の人口

	平成15年4月30日現在(前月比)	前年同月比
男	32,546 (+34)	(+66)
女	35,185 (+18)	(+104)
計	67,731 (+52)	(+170)
世帯数	21,526 (+58)	(+318)

4月中の動き

出生 57	死亡 55	転入 309
転出 259	結婚 28	離婚 12

(次号へ続く)

立ち上り！バイオリーサーパーク

地域交流講座

「21世紀を創るバイオの世界」

食品の安全性には極めて多くの要素が関係しています。その一部をあげれば、環境、農業、科学技術、加工、輸入、調理、家庭での取り扱い、政府の施策などがあります。安全確保はただでは出来ません。また安全と安心とは別のこと、安全は科学的な視野



講師 食品微生物・食品安全学研究室教授 **田中 信正** さん
「食の安全性確保」(その1)

に立つて確保し、安心は情報公開で得られます。食の安全をおびやかす要因には化学的要因(天然毒素、残留農薬、内分泌攪乱物質、環境ホルモンなど)、物理的要因(ガラス片など、怪我を起こすものなど)、それに生物的要因があります。後者には病原細菌、ウイルス、寄生虫、原生虫などが含まれ、最も頻繁に問題を起こすものです。ナチュラル、オーガニックといえ、安全だと考えている人も多いでしょうが、必ずしもそうではないことを認識すべきです。

す。天然に毒素を持つている植物、動物は多く、またオーガニックも化学的危素要因は別として、生物的にはかえって危険なことがあります。肥料に堆肥を用いた場合に、動物のし尿由来する大腸菌O157が問題を起した例もいくつもありません。この反対に、近ごろ世間で嫌われている遺伝子組換え食品ですが、これが人間に害があるという科学的事実はありません。また、環境への害がある可能性が強調されていますが、これも実際に起きた例はありません。遺伝子組換えによって、危険な農薬の使用が減り、無差別的な殺虫剤を使わなくても害虫の制御ができるようになったことなど、十分な審査を通じて出

てきた遺伝子組換え作物は環境にかえって優しく、食糧増産に寄与する可能性も高いのです。アメリカでは遺伝子組換えの表示義務もなく、市民は懸念なく日常的に遺伝子組換え食品を食べていますが、問題があったということはありません。感情的拒否は無用なだけでなく、安全にかかる費用を増大しますし、将来の食糧危機への対応を危うくします。また、残留農薬の問題、無許可農薬の使用、虚偽表示、食中毒事故などで情報の完全公開が行われていないことが問題を大きくし、善良な企業、農家にまで被害を及ぼした例があります。違反者を厳しく罰し、善良な企業、農家を保護するために、情報の完全公開が必要です。

身近な自然 豊かなカルチャー

花と遺跡のふるさと公園

新津市美術館

☎0250-25-1301
<http://www.city.niitsu.niigata.jp/>

新潟県埋蔵文化財センター

☎0250-23-1142
<http://www1.ocn.ne.jp/~n-maibun/>

新潟県立植物園

☎0250-24-6465
<http://botanical.greenerly-niigata.or.jp/>